

令和2年度第1回（第49回） 浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 令和2年7月10日（金）14時～15時25分

場所 浜田市役所西分庁舎1階 浜田公民館研修室

[進行/行財政改革推進課長、光延会長]

開会（14:00）	
行財政改革推進課長	<p>定刻になりましたので、只今から令和2年度第1回 浜田市行財政改革推進委員会を開会します。</p> <p>委員の皆様には、本日は、お忙しい中をご出席いただきまして誠にありがとうございます。事務局を務めます行財政改革推進課長の湯浅です。よろしく申し上げます。</p>
1 あいさつ	
行革課長	開会に当たり、光延会長からご挨拶をお願いします。
会長	<p>皆様、ご多忙のところありがとうございます。</p> <p>このようにマスクを着用している状態ですが、これも考えようで積極的に良い方に考えて対処していったらどうかと思います。私もこの問題が大きくなりだして、少なくとも1日3回、多い日は4回熱を測るようにしています。今日も朝測って、来る前にも測りました。36度前後でした。このことを通じて、3か月くらい体温を測っていると波が分かります。少し高いと思えば無理をせずに休んで、下がったらよいかなど。コロナは社会的に大きな問題で波及していますが、自分自身にとって考えてみると、自己管理という教訓かなと思います。</p> <p>自己管理という意味では浜田市の自己管理をやらなければなりません。本日は1時間半という予定になっていますが、皆様の忌憚のないご意見をいただきながら進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>本日、お手元にレジюмеと出席者名簿、資料3の議会特別委員会の意見要旨をお配りしています。また、先般事前送付しました資料1の計画書暫定版、別紙の財政効果額集計表をご持参いただけましたでしょうか。資料があるかご確認ください。</p> <p>次に、本日の欠席者をお知らせします。</p> <p>レジюмеをめくっていただき、1ページの「浜田市行財政改革推進委員会 委員名簿」をご覧願います。田中委員、三浦委員、塚崎委員が所用のため欠席されています。</p> <p>次に、市職員につきましては、2ページに「浜田市行財政改革推進本部 幹事名簿」を掲載しております。本日は、教育長、地域政策部長、旭支所長、市長公室長、財政課長が欠席です。また、産業経済部長の代理で産業経済部副部長が出席しています。</p>

	<p>なお、職員は4月異動で一部変わっていますが、時間の都合上、お手元の名簿で紹介に代えさせていただきます。</p> <p>次に、新任の委員3名をご紹介します。</p> <p>1ページ目をご覧ください、私が紹介しましたら、新任委員の皆さんから一言ずつご挨拶をお願いします。</p> <p>まず、名簿7番目、連合島根西部地域協議会浜田地区会議 副議長の齋藤耕二様です。</p>
齋藤耕委員	<p>皆さん、こんにちは。連合島根浜田地区会議からまいりました齋藤です。こういった会は初めてのため緊張しておりますが、よろしくお願いいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、名簿13番の旭自治区地域協議会会長の塚崎育生様です。塚崎委員は所用のため本日欠席されております。</p> <p>次に、名簿15番、三隅自治区地域協議会委員の齋藤正美様です。</p>
齋藤正委員	<p>皆さん、こんにちは。三隅自治区地域協議会の齋藤と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>昨年の11月から条例検討委員会の委員を任命されて、コミセンの検討委員会も合わせて任命されて、今年の4月から地域協議会委員に任命されました。今日は岡田部長を含めて、本庁の方々が三隅に来ていただいて、三隅のまちづくり協議会及び連合自治会の協働のまちづくり条例の説明会を開催する予定です。色々学びながら進んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、前回の会議の内容と、本日の協議内容を確認させていただきます。</p> <p>前回は、昨年10月29日に2点の協議事項についてご審議いただきました。1点目「公共施設再配置実施計画 別冊（令和元年度版）（案）」につきましては、ご審議、ご意見をいただき、最終的に11月議会で報告しています。2点目の「スポーツ施設再配置・整備計画（案）」につきましては、ご審議、ご意見をいただいた後、パブリックコメントの実施、各自治区地域協議会での審議等を経て、本年3月に計画を策定しました。</p> <p>本日は、協議事項が1点ございます。</p> <p>「行財政改革実施計画の令和元年度実績及び令和2年度計画（案）」について、ご協議いただくこととしています。</p> <p>会議の終了は、15時30分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、以降の議事進行は光延会長にお願いいたします。</p>
2 協議事項	(1) 行財政改革実施計画令和元年度実績及び令和2年度計画(案)について
会長	<p>それでは、協議事項(1)に移ります。</p> <p>「行財政改革実施計画平成元年度実績及び令和2年度計画(案)」について、事務局から説明をお願いします。</p>

行革推進係長	<p>浜田市行財政改革推進課の行革推進係長をしております本常と申します。</p> <p>お手元の資料「行財政改革実施計画平成元年度実績及び令和2年度計画(案)」から説明をさせていただきます。</p> <p>(資料1、別紙、資料3の見方、主な項目について説明)</p>
会長	<p>それでは、平成元年度実績と令和2年度計画(案)について皆様方からのご意見、ご質問等をお願いしたいと思います。発言される場合は挙手をお願いします。</p>
岡本委員	<p>P74の「2-(1)-18 世界こども美術館、石正美術館及び石中央文化ホールの管理運営費の見直し」について質問させていただきます。平成22年度からは赤字続きで色々な検討をされたと思いますが、実行に至らないということで効果額の見直しをされているということですが、先日、議長、副議長と会った時に、「赤字が見込まれるものを予算化はできない、議会には責任がある。」というようなことを言われていました。成果があれば赤字にはならないと思いますが、赤字解消のためにどのような検討をされて、どのように実行し、どうして良いことにならないのか説明をお願いしたいと思います。</p>
教育部長	<p>財団で経営改善計画を作られています。それに基づいて令和元年度から色々取り組みを始めたところです。担当から説明があったように市に関連施設支援室という組織ができており、今年度はそこにも相談しながら、自らでは改善できないものも含めて赤字体質、あるいは収益性、もしくは支出において削減する可能性をしっかりと見てもらっています。</p> <p>先ほど委員のご意見にありましたように、数年来、赤字が出ています。現在、財団はスポーツ施設も含めて指定管理を受けています。プールでは黒字が出ている部分もありますが、どうしても文化施設というのはなかなか黒字にならないのが現状です。職員の人件費につきましても、今年度から会計年度という考え方入りますので、財政効果額については少し減少させていただくこととなります。今は全体について見直しを進めているということでご理解いただければと思います。ご指摘にもありますように、長年の赤字体質から抜けられていないということは私たちもしっかり考えていますので、関連施設支援室とも調整しながら対策についてお示しできるようにしていきたいと思っています。また経過をご報告できればと思います。</p>
齋藤正美委員	<p>P47の「1-(2)-8 市民、地域との連携強化(地区まちづくり推進委員会の設立促進)」について、先日、三隅自治区地域協議会でも、地区まちづくり推進委員会でも話が出ましたが、取組内容に「浜田市地区まちづくり推進委員会認定要綱を見直す。」とあります。推進委員会を認定して、まちづくり総合交付金を活用して、協働のまちづくりを促進することが目的だと思います。</p> <p>交付金については、従来どおりの面積配分などにより交付されており、</p>

	<p>実際に稼働すると苦しい思いをしているところとそうでないところがあるという話が出ました。認定基準が見直されたらどうなるのでしょうか。P33「1-(1)-38 事務事業評価結果に基づく予算の削減（平成 30 年度元気な浜田事業）」について、E 評価で廃止、D 評価で▲20%という説明がありました。とても良いことだと思います。このように認定基準と交付金の配分も考えた方が良いのではないかと思います。</p>
副市長	<p>担当部長が旭自治区地域協議会に出席し、本日は不在にしていますので、私が把握している範囲でお答えいたします。</p> <p>それぞれのまちづくり推進委員会を中心に、総合交付金を使っていただいて活動してもらっています。浜田自治区については、全ての地域ではまちづくり推進委員会が設立できていません。設立できていない地域については、個別の町内単位で交付金を交付しています。令和 2 年度まではこのルールとしています。今後の交付金の配分の方法等については、協働のまちづくりの制度やまちづくりセンターの設置等もありますので、その辺りを踏まえて見直しをさせていただきたいと思います。今は面積要件や世帯数で交付していますが、例えば高齢化率を入れてほしいなど色々なご要望をいただいています。交付金や認定基準の見直しについては、市民の方のご意見をいただく機会も用意して、それを踏まえた新しい制度を作っていきたいと思います。</p> <p>現在、年間 1 億円～1 億 2 千万円程度の交付金を交付していますので、更に増額することは厳しいと思っています。予算の範囲内で、しっかり活動されているところには、等分の手当てができるような考え方で対応していきたいと思っています。</p>
坂東委員	<p>P74 の「2-(1)-18 世界こども美術館、石正美術館及び石中央文化ホールの管理運営費の見直し」について、赤字ということですが、3 年前に大ホールを借りてイベントをやったら 70 万円以上かかりました。800 人集めて 800 円ずつ集金しました。もう少し金額を下げても市民に色々なイベントをやってもらったり、定住推進で浜田市に定住してくださいと言うのであれば、文化の薫るまちと言っているのですから、文化的な施設の金額をもう少し下げて助けてあげてくれることを考えるのもよいのではないかと思います。</p> <p>これは 1 つの意見ですが、人口が少なくなるとますます文化的な活動ができなくなります。美術館、文化ホールがなくなってしまうのもよいのでしょうか。赤字が多いのは気になりますが、これからも文化的な活動ができるように、あまり削減はしない方がよいと思います。今からの意見です。</p>
教育部長	<p>色々な興行なりイベントがあります。満員であればよいのですが、入場者数については、チケットの販売も困窮している状況が続いています。これはイベントそのものの人気がないのか、金額の問題なのか、色々考えるところがあると思います。</p> <p>金額を下げることで人を呼ぶという方法もあると思いますが、全体の収支の中でそれをすると、使用料等を下げるとペイできないので、そ</p>

	<p>これは財団の運営にどう影響が出るかということも含めて全体的に検討させていただきたいと思います。</p> <p>ただ、せっかくの施設ですので、市民の方にしっかり楽しんで見ていただけるようなイベントを含めた企画を実施していきたいと思っています。ご支援をよろしくお願いいたします。</p>
榎岡委員	<p>エコクリーンセンターについて、令和2年度から3年間かけて実施する長寿命化計画は、どの部分をどのように修繕してこのような金額になるのか、もう少し詳しく説明をお願いします。</p>
地域政策部 参事	<p>詳しい資料がなく申し訳ありません。議会特別委員会の意見要旨が誤解を招く書き方になっていますが、令和2年度から4年度までの3年間で長寿命化計画を立てる予定にしています。エコクリーンセンターの建物自体はトータルで50年もつ建物ですが、内部の炉などは錆びたり劣化していますので、どうしても取り替えなくてはなりません。簡単に言うとハコモノの外側はそのままで、中身を変えるイメージです。中身を一度に修繕するとその間のごみが燃やせないで、少しずつ3年かけて改良する計画です。</p> <p>改良は令和5年度から令和7年度までの3年間で行う予定で、現時点の推計では40億円～50億円程度の費用がかかるのではないかとされています。多額の費用をかけますので、本当に良いものができるか、コストを下げてもっと良い方法がないかなどを検討し、令和2年度から4年度までの3年間で長寿命計画を立てる予定にしています。実際の内部の入れ替え作業は、令和5年度から始まると思っています。</p>
榎岡委員	<p>エコクリーンセンターの耐用年数はどのくらいになりますか。</p>
地域政策部 参事	<p>現時点で13年経過しています。次の改良も15年程持たせたいと思っていますが、10年程で入れ替えるものがよいのか、次のスパンも考えながら長寿命化計画を立てる準備をしています。10年ないし15年程度持つようなものに変える予定です。</p>
榎岡委員	<p>全ての建物に共通ですが、作るには結構な費用がかかります。エコクリーンセンターはなくては困りますので、直し直しでやっていくしかないと思います。予定どおりの修繕費用で賄えるのでしょうか。費用はどこから出るのでしょうか。</p>
地域政策部 参事	<p>広域行政組合は浜田市と江津市の支援を受けていますので、浜田市と江津市の両市に負担していただく形になります。それぞれの市で過疎債なり色々な財源を充てられると思います。それ以外に、広域行政組合としても国からの交付金などがあればなるべく活用し、少しでも両市の負担を減らす努力が必要と思っています。その辺りも含めて、3年間かけてしっかり検討し、少しでも安く、なお且つ良いものにできるようにしていきたいと思っています。</p>
榎岡委員	<p>安くて良いものはありそうでありませんが、なくてはならないものですので、いずれの方法にしても修繕をしていただきたいと思います。</p>

小倉委員	<p>P82 の「2-(2)-4 基金の一括運用の実施」について、現状・課題にある昨年実績利回率は 0.073%と非常に低率ですが、効果についてはまずまずと見えます。債券の運用はこれから行われるのかもしれませんが。リスクとリターンの関係について、行政の運用はよくわかりませんが、これを見ますと、どのパーセンテージを目標にされているのか少し分かりにくいのですが、どのようにお考えでしょうか。</p>
総務部長	<p>行政の運営で大切なのは、安全安心に運用するということが第一で、その中で効率的に運用していくことが大きなテーマです。色々なところでご指導いただいたり、勉強しながら進めております。かつては定期制のものだけ預けるという時期もありました。少しずつ様々なものを運用していくということで僅かずつ増えてきています。また、基金の運用そのものも、預けるより浜田市の一般会計の中で基金を借り入れしたり、戻したりして運用するなど、運用益を高めるようにしています。</p> <p>資料を持ち合わせていないため、具体的な率についてお話ができず申し訳ありませんが、次回にでもこのような形で運用しているということをご報告しようと思います。</p>
矢野委員	<p>P74 の「2-(1)-18 世界こども美術館、石正美術館及び石中央文化ホールの管理運営費の見直し」について、集客という赤字改善の観点から見ると、私自身が大学生で島根県立大学に通っていて、大学での活動等でこれらの施設を利用したことがなく、周りでも利用している人を聞いたことがありません。</p> <p>これらの施設はともて良い教育材料となると思いますので、大学の課外活動や授業単位、ゼミ単位などで美術館等の教材を扱うような授業もあるので、そういったところで利用促進を図り、大学生が使う機会を増やすのも良いのではないかと思います。</p>
教育部長	<p>あまり利用がないということで残念ですが、会長、副会長もいらっしやいますので、学生さんに来ていただくこともそうですし、大学の方でも利用について検討いただければ、市の方でもしっかり協力させていただきたいと思います。</p> <p>若い人に限らず誰でも利用できる施設にしていきたいと思いますので引き続きよろしくお願いします。</p>
岡本委員	<p>P47 の「1-(2)-8 市民、地域との連携強化（地区まちづくり推進委員会の設立促進）」、P48 の「1-(2)-9 協働の推進」について、お願いをしておきます。</p> <p>私は、公民館のコミュニティセンター化検討部会、条例検討委員会、交付金制度の検討委員会いずれにも出席し、議論を重ねています。条例はパブリックコメントにかかっている状況ですが、その中身となると具体的な話ができていせん。P47 の現状と課題に書いてあるように「これまでの仕組みでは解決できない課題が増えてきている。」、P48 の取り組み内容では「市民との協働が可能な事業を検討し、可能な事業から協働を進める」</p>

	<p>となっています。</p> <p>これまでも意見として申し上げてきましたが、可能な事業を具体的に挙げていただかないと、各地区の委員との認識の差があまりに大きく、会議をしても解決に至らないという状況があります。近々交付金制度の検討委員会がありますが、こういう課題を共通に考えているというものを示していただかないと、検討会議を開いても実が上がらないという状況が続いています。担当部にそういうことをお伝えいただきたいと思います。</p>
副市長	<p>協働のまちづくり、コミュニティセンター化等の協議にご参加いただきありがとうございます。</p> <p>具体的な項目が上がっていないことは承知しています。検討項目に入っていないかもしれませんが、今後、この新しい制度ができれば、中山間地域のために 10 億円の基金を積み立て、今もされていますが、危険木の伐採と一緒に取り組んでいただくなどの予算も用意したいと思っています。</p> <p>全市的ではありませんが、地域の皆さんと市との取り組みの 1 つの例として説明させていただきたいのが、弥栄自治区のガソリンスタンドです。ガソリンスタンドがなくなるということで、弥栄の皆さんから要望があって市が支援をして、J A が 15 年間、地域のガソリンスタンドを守ります。ただ残しても利用していただかなければ意味がありませんので、地域の皆さんが応援する会というのを作っていただいて、積極的に利用しようとしてされています。そのことがガソリンだけではなく、地域の他のものも活用したり、地元で色々なことに広げていこうという取り組みに繋がると認識しています。</p> <p>それぞれの地域で特にこれが課題だということがあればそれも拾い上げながらやっていきます。全市的に共通な課題についてはお示しして、一緒にそれが解決できるようにやっていければと考えています。ご意見については、担当部長や職員に伝えます。</p>
久保田委員	<p>公立幼稚園の統合について、目標時期をお聞かせいただきたいと思います。</p>
健康福祉部長	<p>原井幼稚園と石見幼稚園の統合について話をさせていただきましたが、原井幼稚園は園児が少なく休園しており、統合という話ができない状態にあります。他の幼稚園についても園児が少なく、今後どう運営していくかということ、園児の募集時期である 12 月までに検討していきます。</p> <p>また、議会の方でも色々なところで勉強されていて、意見もしくは提言をいただけるということでそれを待っており、検討を進めてはいますが、どのようになっていくかはまだ回答できない状況です。</p>
久保田委員	<p>今、幼稚園のニーズは高いのでしょうか。</p>
健康福祉部長	<p>難しいところですが、昨年 10 月から 3 才以上の保育園の無料化が始まり、保育園に入園される方が増えて、4 月の幼稚園入園児が減少しています。今後どうするかということも含めて検討していかなければならないと思っています。</p>

久保田委員	ある意味、今がグッドタイミングなのではないでしょうか。そうとも言えないのかもしれませんが。
馬場委員	個別項目ではありませんが、全87項目のうちA評価が64項目ということで、計画が十分に進んでいるという印象を受けています。一方で、コロナの関係で第1四半期の計画が大きく狂ってくるものがあるのではないかと推察します。例えば時間外勤務などがあると思いますが、計画の進捗にとらわれず必要なものはしっかりやって、一旦重要なところにパワーを投下するという見方もあるのではないかと考えています。計画にメリハリをつけて進めることも有りではないかと思っています。
副市長	<p>浜田市は幸いにも感染者が出ていませんが、皆様のご協力をいただきながら、市では緊張して予防に取り組んでいるところです。</p> <p>今年度は行財政改革だけではなく計画している色々な事業が延期・中止になっています。浜っ子春祭りや花火大会などの大きなイベント、8月の東京オリンピック延期に伴う東京での石見神楽の上演中止など色々なところで事業が延期・中止になっています。その浮いた予算を感染予防などに回して、5月には市の第1弾の感染予防対策として5億数千万円を、先般6月には第2弾ということで5億数千万円、合わせて11億円ぐらいの感染予防を行っています。</p> <p>ただ感染を防ぐだけではなく、経済が非常に疲弊しているということで経済対策も合わせて行っています。本日は個別には申し上げませんが、しっかり効率化するところは効率化し、ふるさと寄附が20億円近くありますので、それも有効に活用しながら、市民の皆様が必要と思われるものにしっかりと対応できるように努力していきたいと思っています。</p>
大谷委員	P70の「2-(1)-15 学校給食施設の統合」についてですが、当初の計画では箇所数を減らすということでした。色々な見直しの中で学校統合計画が遅れているということですが、基本的には数は残して機器を更新し、地産地消でいくという方向になっているのか確認させてください。
教育部長	<p>数年前に浜田と金城の2か所という方針を出しましたが、なかなか進まないまま今に至っています。ここ最近、大規模な災害が全国で発生している中で、給食センターは炊き出し施設として利用可能であり、リスク分散のためにも複数あった方がよいという意見をいただいています。そういった状況でなかなか方針が出せずにいます。</p> <p>一方で各施設が老朽化していますので、毎年の修繕料が嵩むという状況があります。なかなか方針を出し切れていない状況ではありますが、災害等の対応含めて全体の中ですということ。学校統合計画についても審議会から答申が出まして、昨年からは地域で説明をさせていただいています。今月中にも何か所か地域と話をさせていただきますが、皆さんの意見を聞いて今年度中に教育委員会としての方針が出せれば、統合計画を出した上で、給食センターのあり方についての方針をお示ししたいと思っていますので、もう少しお待ちいただければと思います。</p>

豊田委員	<p>平成 27 年度に 27 億円を削減するという事で、現在は 31 億円の見通しとなり非常に大きな財政効果があったということを資料から伺えますが、一方で、この期間に増えている事業もあります。そこで、行財政改革を行うことで全体として増えている事業と減っている事業でトントンなのか、それともこの行財政改革を行うことによって浜田市の財政がより良くなっているのか、増えている事業が多すぎて悪くなっているのか、今どういう状況なのか教えていただきたいです。</p> <p>意見ですが、金額が減ることは良いことですが、それ以上に市民に向けてより良くなったという情報の発信にもう少し力を入れてやっていただくと、皆さんも減らすことによってより良くなるやり方があるということをご共有認識として持てるのではないかと思います。</p> <p>先ほど、コロナについてマイナスをプラスにという会長あいさつがありました。この中でも進められていますが、これを機に ICT 化等をもっと積極的に進めて、減らせるところがあればもっと減らせるように進めても良いのではないかと思います。</p>
副市長	<p>平成 17 年 10 月に浜田市がスタートした当時は、財政状況が非常に厳しかったため、ずっと行財政改革に取り組んできました。今回は 30 億円強の効果額に取り組んでいますが、それまでは 100 億円程度の効果を計上し、主には人件費、職員の 3 分の 1 採用など様々なことをやってきました。一時は、財政状況の指標の 1 つである実質公債費比率が 25.1% という危険ラインを超え、ワースト 10 位以内に入るような状態となっていました。現在は 10% 前後で、県内 8 市の中では一番良い状態ですが、島根県は借金に依存する財政状況のため、全国的には低い状況です。それほど悪くはないが、とても良くなったということでもない。ただ、行財政改革が少しずつ効果を出しているので、今、コロナ関係について他の自治体は財政調整基金を取り崩されていますが、浜田市の場合は取り崩さずにふるさと寄附や国の支援でやっています。更新という一番お金がかかるハード部分は、合併したことで有利な合併特例債や過疎債というお金を使いましたので、年間で 400 億円を超える予算となりました。これは人口 5 万人あまりの自治体としてはかなり大きな予算ですので、今はそれを切るような予算になっています。コロナの関係で市民に 1 人 10 万円の給付金を支給しましたが、これも市の予算を通していきますので、これだけで 50 億円かかっており、今年度はかなり予算が増えています。ある程度の安定的な財政運営ができていますが、それはこういった行財政改革を途切れなく切れ目なくやってきたことで効果が出ています。今回の計画や職員の定員適正化計画を着実に実行していけばある程度の市民の皆さんへの行政サービスは維持できると認識しています。</p> <p>情報発信については、ご意見のとおりなかなか浜田市はその辺りが上手ではなく、今回もコロナの関係で色々行ってきましたが、それを上手く市民の皆さんに届けることができていません。ホームページなどでは随分</p>

	<p>公表しているつもりですが、皆さんが一番目に触れるのは新聞で、特に地元紙に掲載されると一番反応があるようです。そのことを踏まえ、いかに情報発信をやっていくかということを考えてきたいと思います。</p> <p>また、テレワークやオンラインなどの IT 化についても重要なことだと思っていますので、都会から地方に來られてテレワークなどをやりたいという方に対して、きちんとした高速の情報網が整備できていないと対応ができませんので、その辺りも踏まえて早急に対応したいと思っています。</p> <p>そのためにも行財政改革をしっかりとやって、そういったことにお金を注ぎ込めるような取り組みをしていきたいと思っています</p>
会長	<p>全体的にご意見がありましたら、後でいただくことにして、次の議題に移りたいと思います。</p>
3 その他	
会長	<p>その他ですが、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>今後の予定につきまして事務局から事務連絡をさせていただきます。</p> <p>次回の会議につきましては10月頃に開催する予定です。議題につきましては公共施設再配置実施計画の別冊令和2年度版（案）についてご審議いただくこととしています。開催日時につきましては9月頃にご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>全体を通じて、ご意見等はありませんか。</p>
細川委員	<p>スポーツ施設について、当初はスケート場を廃止する方針でしたが、広島方面から強い要望があるので2年程利用状況をみたいということでした。その後、広島からの利用状況はどうなっていますか。</p> <p>また、野球場について新聞報道を見ていると、スコアボードの交換など改修を行われたので浜田市でも高校野球ができるだろうと思っていますが、今回の予選も益田市となっていました。色々お金をかけて改修されましたが、まだ高校野球ができません。まだ改修が必要な部分があるのだろうと思いますが、どのようにお考えかお聞きしたいです。</p>
教育部長	<p>スケート場については、答申では廃止という方向が出ましたが、広島との交流や観光面も含めた効果があるという点で2年間は様子見させていただくことにしています。ただ、この施設は、基本的に10月からGWまで運営しています。今年の3月に再編計画を出しましたが、コロナの関係で実質閉鎖していましたので、今年度は、県外からは基本的には来られていないと思います。今年の10月のオープンから、どこまで利用していただけるのかなというところはあります。</p> <p>前回、大まかに年間2万人という数字を示していますが、コロナの影響で屋内施設は定員の半分しか使わないようにという意見が出ていますので、その中で2万人という数字を活かすと難しいと思います。逆に収益面で見ますと、2万人くればペイできるという試算もある中で、非常に悩ましいところではあります。</p>

	<p>いずれにしても、行革上は再編計画を作ったということで完成ですが、教育委員会としては計画ができてからがスタートです。毎年ローリングをしながら他の施設も含めてどういう運営をしていくかということをしっかり検討していきたいと思います。</p> <p>野球場につきましては、電光掲示板をLED化し、フルカラーとなっています。既に野球大会で使っていただいて非常に好評は得ていますが、ご指摘のありました高校野球の夏の大会は益田市です。秋は浜田市という話も耳にはしていますが、まだ正式ではありません。できるだけ大会についてはしっかり誘致していきたいと思っています。まだ色々な要望全てに配慮されていませんので、予算含めて検討させていただければと思います。球場まで足を運んでいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
坂東委員	<p>弥栄自治区のガソリンスタンドについて、弥栄の人が156円/ℓだと言われていました。市内の方が断然安いという声がありました。頑張って使ってくださいと言われていましたが、値段が全然違いますね。</p> <p>P50の「1-(2)-10 ふるさと寄附の外部委託」についてですが、金額が書かれていませんが、これはいくらくらいでしょうか。</p>
副市長	<p>ガソリンスタンドはたくさん給油される所は安くなり、どうしても利用が少ないところは高くなります。当然、安い所に皆さん行かれると思いますが、やはり地域で使うということで、多少高くてもご利用いただきたいと思います。ただ、ガソリンだけではなくて、例えば高齢者の農家の方で、農機具の燃料などはなかなか買いにいけないということもありますので、そういった方にご利用いただいたり、応援する会においては、JAさんと協力してポイント制で少し還元できるようなこともされています。市内のガソリンスタンドとはどうしても利用状況が違いますので、それを同じ値段でとなると、運営されている方は採算面で難しいと思います。地域の皆さんが必要なものだということで少し高くても買ってあげようという気持ちでお願いするところかと思っています。</p>
岡本委員	<p>浜田市に支援していただくということですが、弥栄自治区の基金を使う事業です。自治区制度がある間、基金を使うことは合併当時の約束で、支援していただいているものではありません。その辺りは誤解のないようお願いいたします。先ほど副市長が説明されたように、ガソリンというのはわずかな部分で、弥栄の高齢化率から考えて生活そのものを脅かす大きな問題です。そういったところは誤解が多いのかなと感じています。</p>
産業経済部 副部長	<p>ふるさと寄附の外部委託の金額ですが、年間のふるさと寄附額の何%という契約になっています。例えば、平成30年度は約7,000万円です。令和元年度は、総務省がふるさと寄附の制度を変えたので、9月から委託開始したため金額が少なく約3,800万円です。令和2年度は3.85%で委託契約しています。</p> <p>業務委託による効果ですが、平成27年度は、正規職員が室長を含めて4</p>

	<p>人、嘱託等臨時職員が5人で計9人でした。外部委託を進めることで、令和2年度は正規職員が室長、係長、係員の3人、会計年度任用職員が2人で、大幅に人員を削減しています。更に時間外勤務についても、4月～6月の状況を見ますと大幅に削減されています。</p>
会長	<p>全て終わりました。ちょうど時間ですので、最後に副市長からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
副市長	<p>本日は大変お忙しい中、またお足元の悪い中ありがとうございました。色々ご質問をいただき、お答えさせていただいたところです。行財政改革は切れ目なく継続しなければ、市の財政運営、市民サービスが対応できませんので、しっかり計画を作って実行できるように取り組んでまいりたいと思います。また、委員の皆さまに色々なご意見をいただいてチェックをしていただくことで、より良い効率的な運営ができるようにしてまいりたいと思います。</p> <p>本日お答えできなかったものにつきましては、本日欠席している担当課に伝えて、きちんと対応できるように取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>コロナの関係で引き続き第2波など心配することがあります。市としても万全の対策は尽くしていきたいと思いますが、冒頭に会長からも話がありました。市民の皆様、一人ひとりの感染予防、体温を測ったり手洗いなど、それぞれに努力していただくことが一番重要だと思っています。引き続きよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、令和2年度第1回浜田市行財政改革推進委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>

(午後3時25分終了)